

荒川太郎右衛門地区自然再生事業

平成16年 台風22号、23号出水状況報告

平成16年10月31日

荒川上流河川事務所

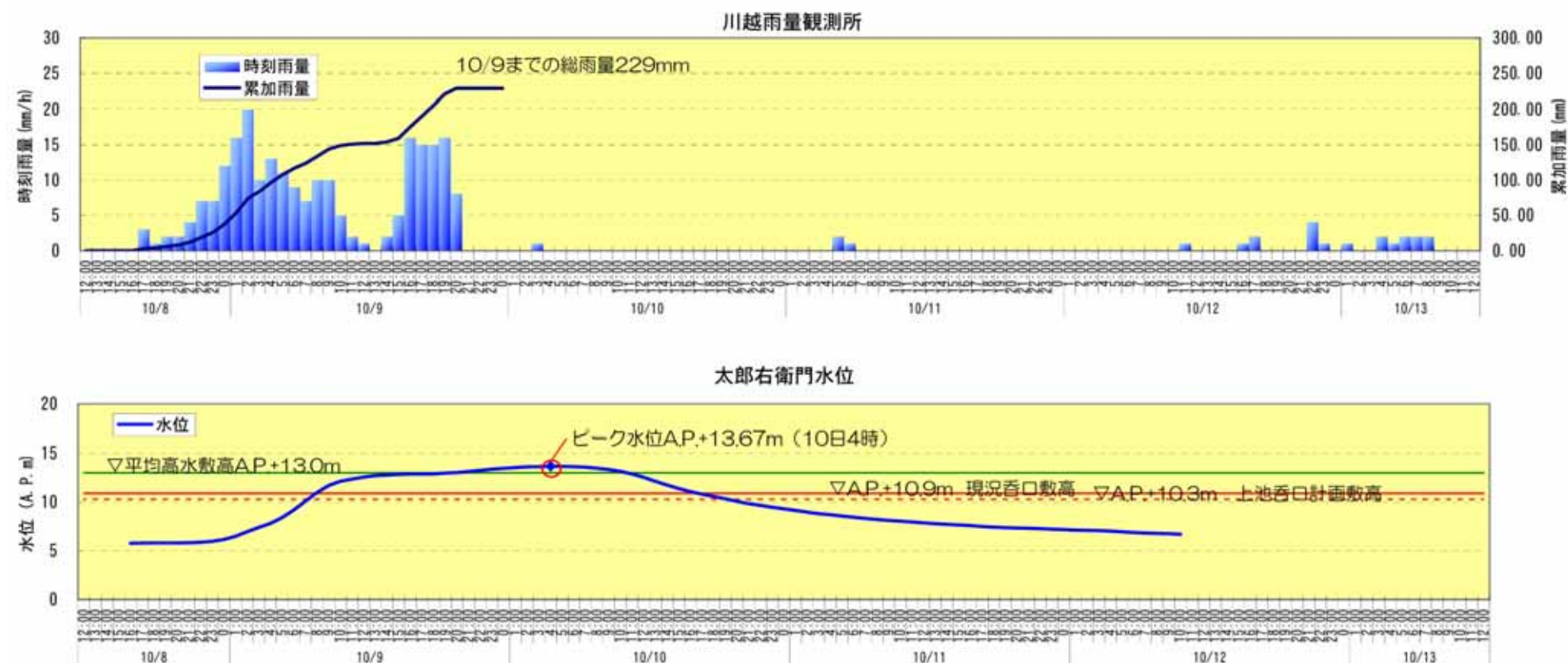
平成 16 年 台風 22 号 (H16.10.9~10) 出水状況報告

10月4日12時にフィリピンの東海上で発生した台風第22号は、発達しながら日本の南海上を北上した。台風は、9日16時頃、伊豆半島に強い勢力で上陸し、関東地方を通過、夜には鹿島灘へ進み、10日09時に日本の東海上で温帯低気圧となった。

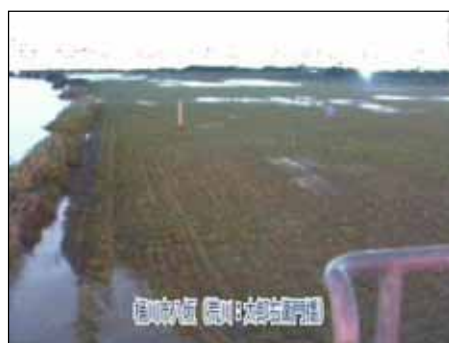
台風と前線の影響により、東海地方から関東南部にかけて、総雨量が300mmから400mmの大雨となった。また、9日には、静岡県御前崎で最大1時間降水量89mm、静岡県伊豆市湯ヶ島で75mm、静岡県石廊崎で最大瞬間風速67.6m/s、東京都大島で51.5m/sを観測するなど、台風の中心付近では猛烈な雨や風となった。[以上、気象庁記者発表資料抜粋]

太郎右衛門自然再生地に近い川越雨量観測所においても、8日から9日にかけての2日間総雨量は229mmとなっている。

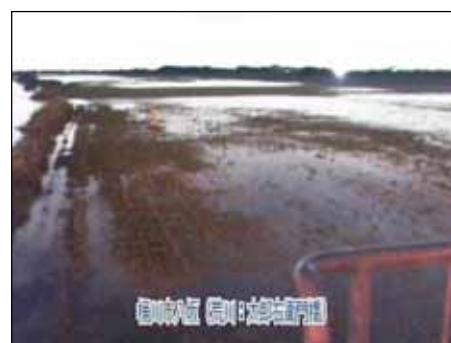
太郎右衛門橋水位観測所の水位も9日に入って急速に上昇し、8時には上池の現況呑口敷高(A.P.+10.9m)を越え、本川から上池への流入現象が生じたと考えられる。水位のピークはA.P.+13.67m(10日4時)になり、この高さはほぼ高水敷高に相当する(低水路満杯流量)。低水路側の牧草地等については広範囲にわたり冠水した。



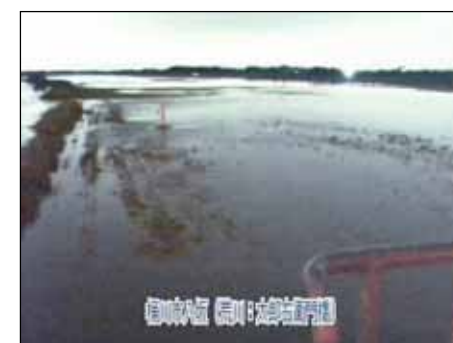
太郎右衛門橋
監視カメラ
定点写真



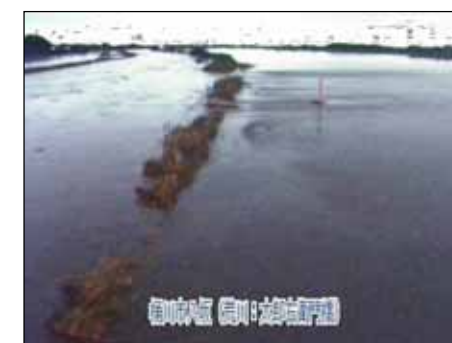
9日 21:30



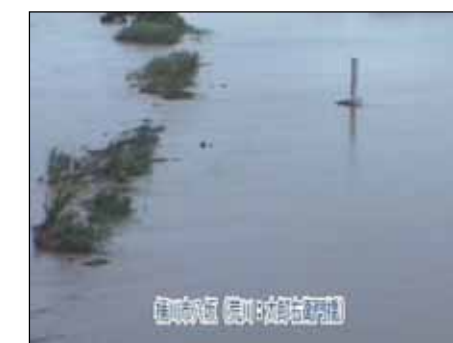
9日 23:00



9日 24:00



10日 02:00



10日 05:30

現地写真



太郎右衛門橋より下流 (9日 12:25)



上池冠水状況 (10日 13:47)



上池側旧モトクロス場冠水状況
(10日 14:11)



中池側旧モトクロス場冠水状況
(10日 14:11)



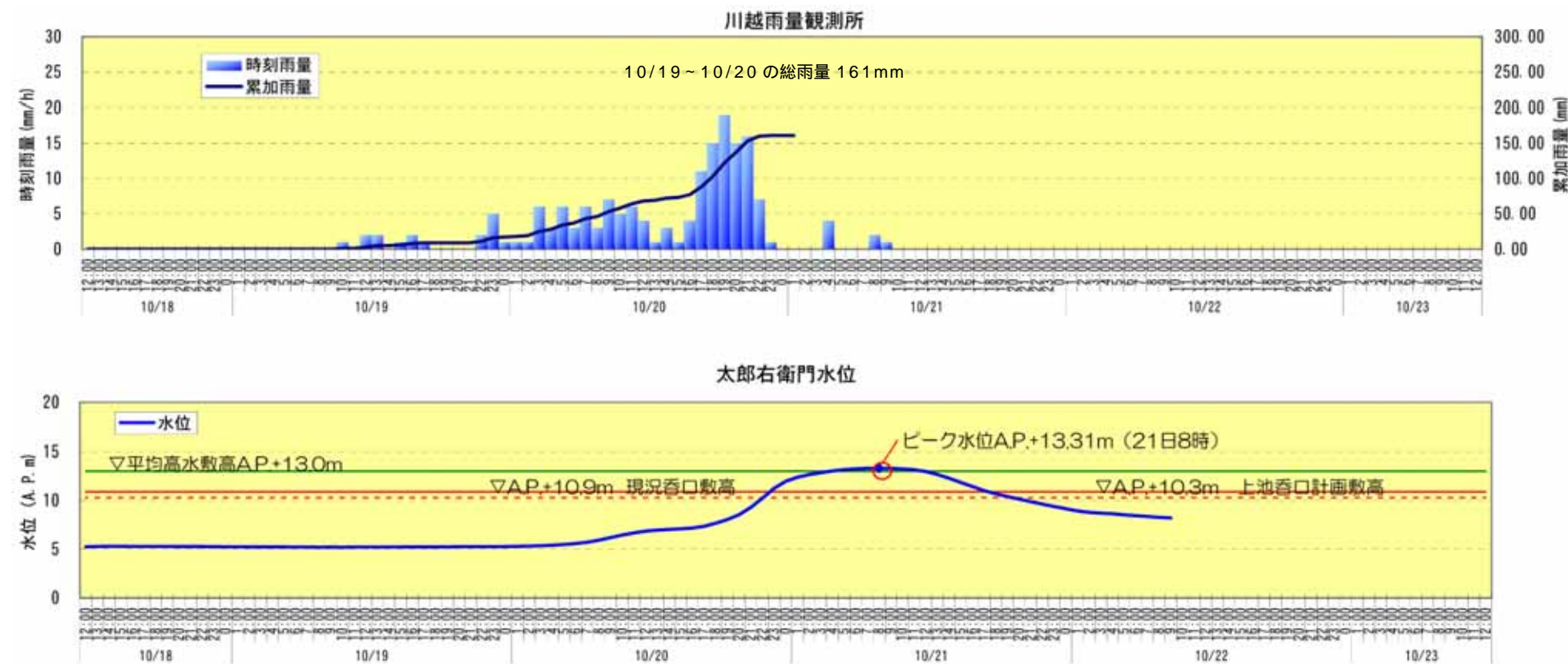
高水敷冠水状況 (10日 14:35)

平成 16 年 台風 23 号 (H16.10.18~21) 出水状況報告

10月13日09時にマリアナ諸島近海で発生した台風23号は、18日09時に超大型で強い勢力となって沖縄の南海上を北上した。台風は、19日に沖縄本島から奄美諸島沿いに進み、20日13時頃、大型の強い勢力で高知県土佐清水市付近に上陸した後、18時前、大阪府泉佐野市付近に再上陸した。その後、東日本を横断して21日09時に関東の東海上で温帯低気圧となった。

台風と前線の影響による総降水量は、四国地方や大分県で500mmを超えたほか、近畿北部や東海、甲信地方で300mmを超え、広い範囲で大雨となった。特に、台風が西日本に上陸した20日は、九州地方から関東地方にかけての多くの地点で、これまでの日降水量の記録を上回る大雨となった。また、台風の接近・上陸に伴い、南西諸島から東日本にかけて広い範囲で暴風、高波となった。[以上、気象庁記者発表資料抜粋]

川越雨量観測所の19日から20日にかけての総雨量は161mmとなった。太郎右衛門橋水位観測所の水位は20日未明から上昇し、21日8時にはA.P.13.31mに達し、高水敷は再び広い範囲にわたり冠水した。



太郎右衛門橋
監視カメラ
定点写真



21日 02:20



21日 03:00



21日 04:00



21日 05:00



21日 06:00



21日 07:00



21日 08:00



21日 09:00

【参考】高水時の上池付近の冠水頻度について

高水時の上池付近の冠水頻度について、過去10年間（平成6年1月～平成16年10月の10年10ヶ月）の太郎右衛門橋水位観測所の時刻水位データ（毎正時観測）をもとに整理した。

この結果、平成6年以降では、現況呑口敷高（A.P.10.9m）を超えたのは12回であるのに対し、計画呑口敷高（A.P.10.3m）では16回超えることとなる。また、平均高水敷高 A.P.+13.0m を超えた回数は8回（台風23号までを含む）となっている。

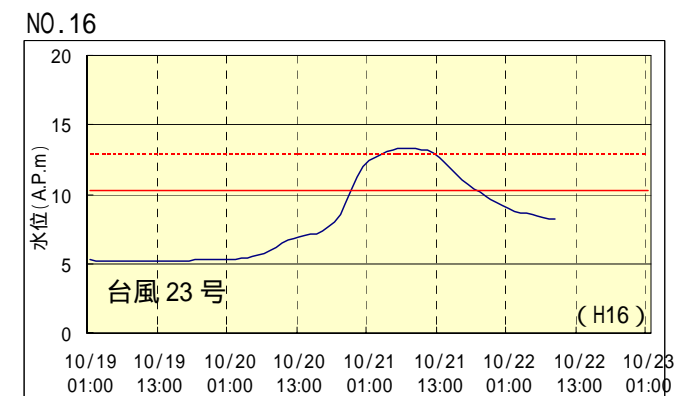
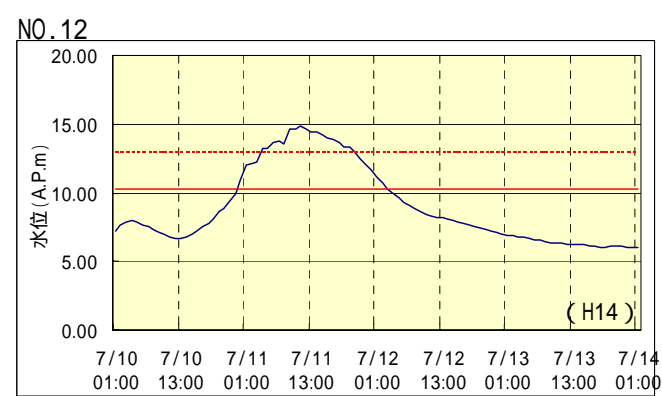
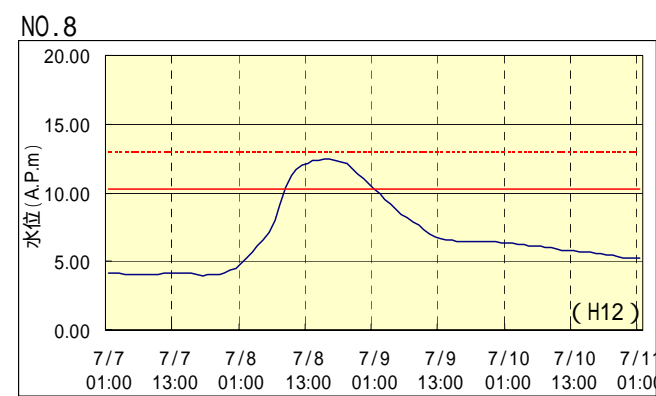
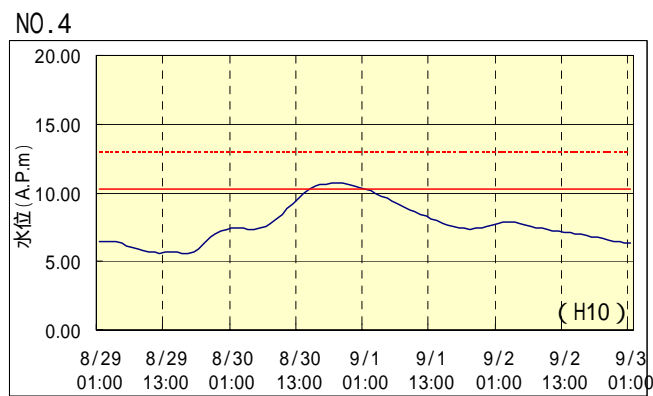
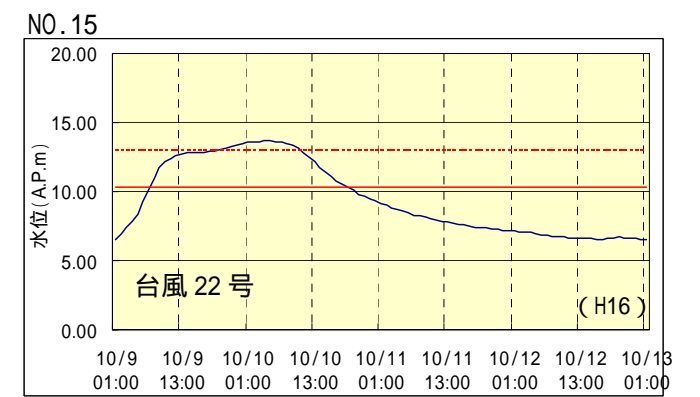
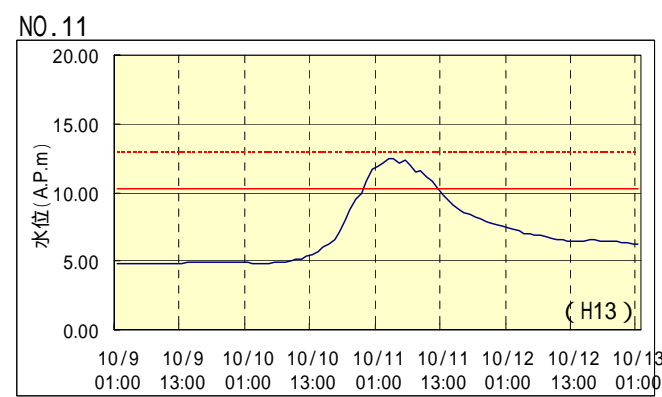
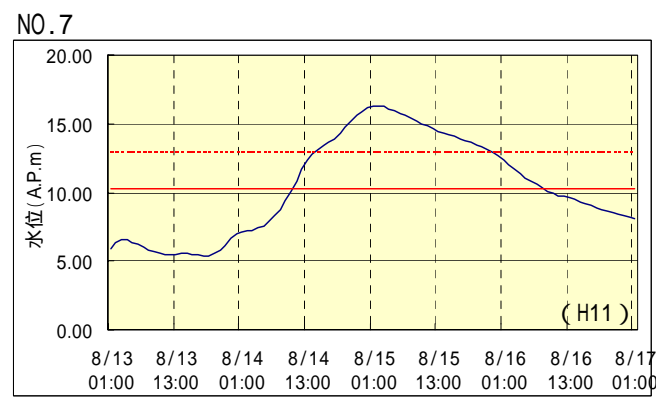
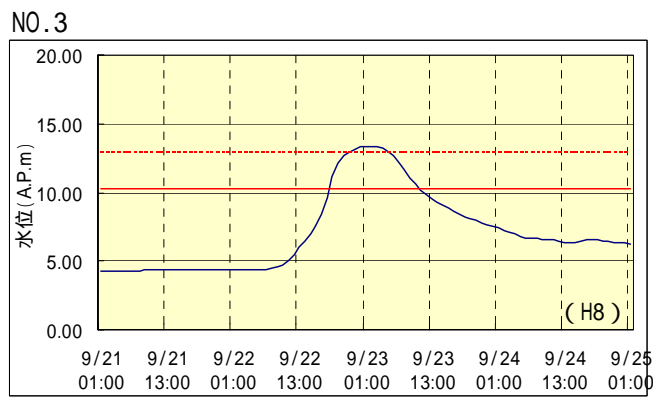
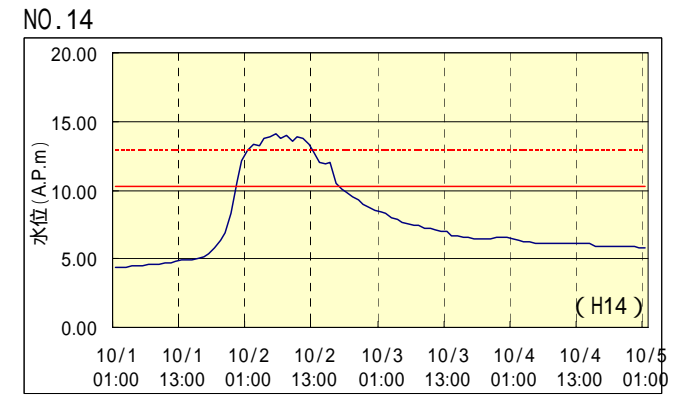
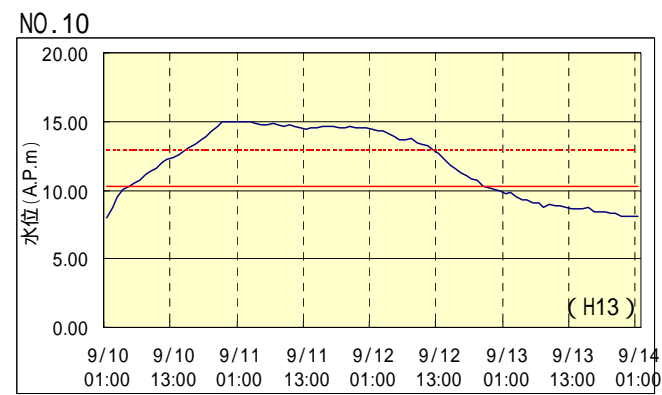
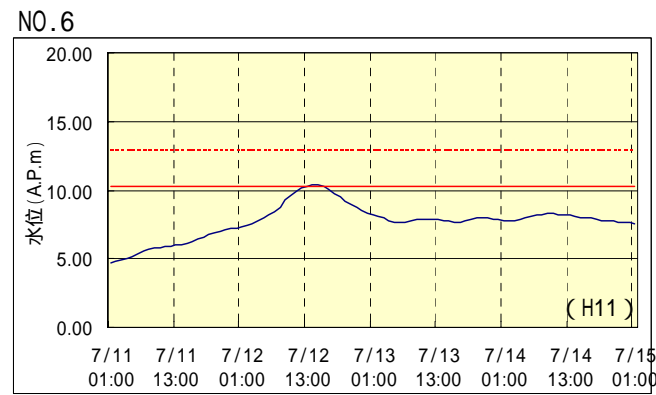
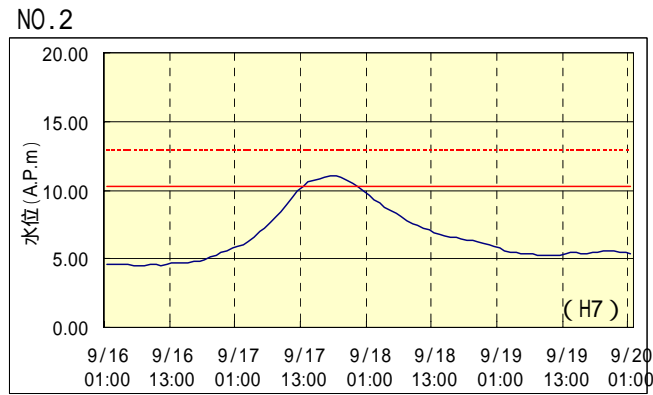
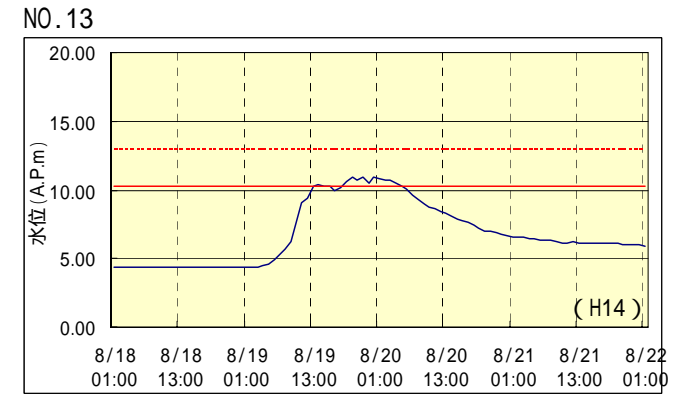
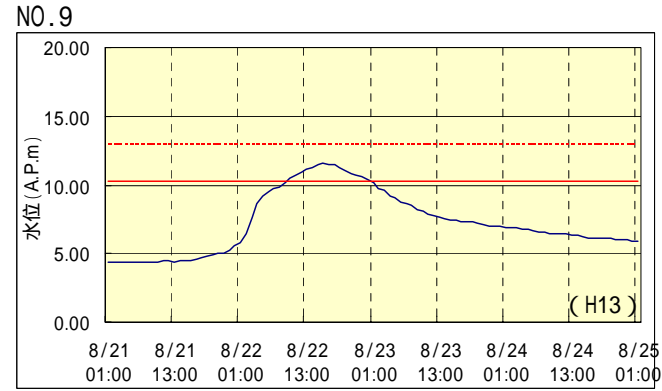
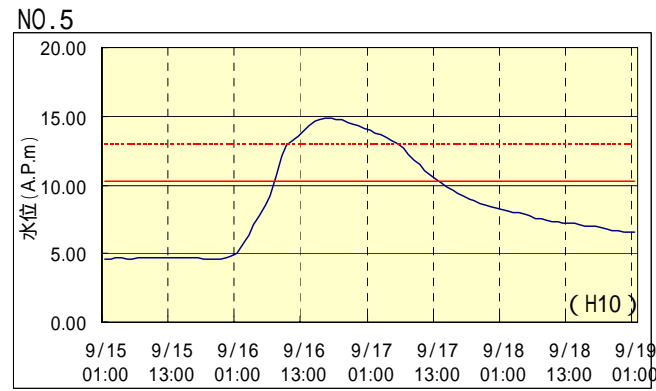
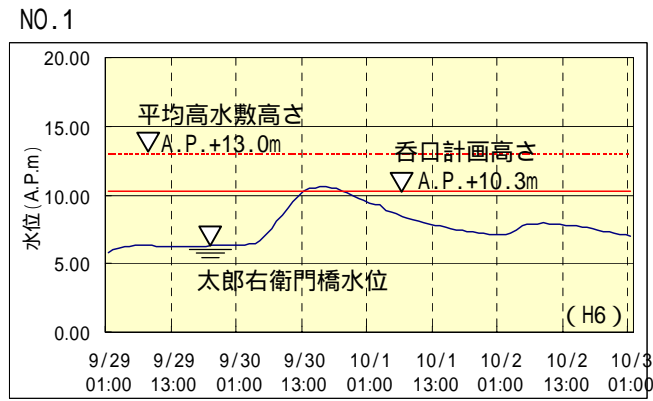
呑口流入頻度（現況）： $\frac{12 \text{ 回}}{10 \text{ 年 } 10 \text{ ヶ月}}$ 概ね11ヶ月に1回の割合で流入
 呑口流入頻度（計画）： $\frac{16 \text{ 回}}{10 \text{ 年 } 10 \text{ ヶ月}}$ 概ね8ヶ月に1回の割合で流入
 高水敷冠水頻度： $\frac{8 \text{ 回}}{10 \text{ 年 } 10 \text{ ヶ月}}$ 概ね1年4ヶ月に1回の割合で流入

上池呑口については、現況でほぼ年1回以上流入することとなっているが、計画高さまで引き下げることにより、概ね8ヶ月に1回の割合で流入することとなり頻度が増大する。

また、高水敷については1年4ヶ月に1回の割合で冠水するような高さとなっている。

表 主な出水時の太郎右衛門橋観測所水位

No.	年	A.P.+10m を超過した期間	継続	ピーク値 (A.P.m)
1	H6	9/30 14時～9/30 20時	7時間	10.58m (16時)
2	H7	9/17 14時～9/17 22時	9時間	11.00m (19時)
3	H8	9/22 19時～9/23 10時	16時間	13.36m (9/23 2時)
4	H10	8/30 16時～8/30 24時	9時間	10.74m (20時)
5	H10	9/16 8時～9/17 13時	30時間	14.85m (9/16 18時)
6	H11	7/12 13時～7/12 15時	3時間	10.36m (14時)
7	H11	8/14 11時～8/16 8時	46時間	16.26m (8/15 2時)
8	H12	7/ 8 9時～7/ 8 24時	16時間	12.44m (16時)
9	H13	8/22 10時～8/22 24時	15時間	11.56m (16時)
10	H13	9/10 6時～9/12 21時	64時間	15.00m (9/11 3時)
11	H13	10/10 23時～10/11 12時	14時間	12.51m (10/11 3時)
12	H14	7/10 24時～7/12 3時	28時間	14.85m (7/11 11時)
13	H14	8/19 19時～8/20 4時	10時間	10.92m (8/19 22時)
14	H14	10/ 1 23時～10/ 2 17時	19時間	14.14m (8/2 6時)
15	H16	10/ 9 8時～10/10 19時	36時間	13.67m (10/10 4時)
16	H16	10/20 23時～10/21 19時	21時間	13.31m (10/21 8時)



主な出水時の太郎右衛門橋観測所水位